



こまたにひょうが
一日灯台長の駒谷 彪 篤くんと「かんだちく
ん」が1万人目の灯台見学者を祝福



東通小・中学校の合奏による曲も披露



開会挨拶をする越善村長



ライトアップされた尻屋埼灯台の夜間特別公開

今年も「ひがしどおり来さまいフェスタ 2018」が、多くの皆様のご協力のもと、盛大に開催されました。

村内への庁舎移転を契機に始まった本イベントも、今年は開催30回という節目の年を迎え、村のイメージキャラクターである「かんだちくん」のお披露目や、豪華村産品が贈呈された「感謝！大抽選会」など、開催30回を記念するプログラムもフェスタを盛り上げました。

オープニングを飾ったのは、お馴染みとなった東通小・中学校の吹奏楽部によるコンサート。当日朝まで続いた台風模様を吹き飛ばすように、児童・生徒の息の合った音色が響き渡りました。

続いて行われた尻屋埼灯台の一日灯台長任命式では、東通小学校5年生の駒谷彪篤くん（尻屋地区）に任命証が交付されました。



台風を跳ねのけ無事開催！！

ひがしどおり来さまいフェスタ 2018

尻屋埼灯台は今年6月から参観灯台として一般公開が始まり、25日には特別に夜間公開も行われました。また、フェスタ2日目の26日には見学者が1万人を超え、駒谷君と応援に駆け付けた「かんだちくん」が1万人目の見学者を祝福しました。

フェスタ会場では、恒例となった第44代青森県民謡王座の二本柳征勝さん（小田野沢）をはじめ村内外の名人達が集った民謡ショーに加え、高野雅嗣、フィーチャリング鳴海昭仁による横笛と三味線によるライブ、仁志川峰子さんの歌謡ショー、村内青年団による勇壮華麗で男気溢れる東通村演芸会、老部地区と蒲野沢地区の御堂や山車を引き連れての流し踊りなど、芸能の村らしいイベントに会場は大いに沸きました。

さらに今年は、開催30回を記念し、23年前に当イベントのイメージキャラクターとして誕生した「かんだちくん」が“実体化”して生まれ変わり、村民の前に改めてお披露目さ



雨のなか、たくさんの方が参加



演芸会



仁志川峰子
ショー



高野&鳴海



民謡ショー

さまざまな芸能に触れる「来さまいフェスタ」